

長良九条の会  
だより  
No.108  
2016年1月

「緊急事態条項」の新設を定がかりとして改憲

「改憲」改憲「ではなく」「だまし改憲」

安倍政権は憲法改正の出発点に「緊急事態条項」を追加する方針を固めた。

「緊急事態条項」とは？

大災害や戦争が起きたとき政府の権限を強化したり、国会議員の任期延長ができるようにする憲法上の規定。現行憲法では認めていない。

2012年の自民党改憲草案での具体案

首相が緊急事態を宣言すれば

- ① 内閣は法律と同じ効力を持つ政令を制定できる。
- ② 首相は必要な財政支出や地方自治体への指示ができる。
- ③ 何人も、国民の生命・財産を守るための(国や公の)指示に従わなければならない。

自民党草案の内容は、憲法が保障する「基本的人権」を制約する恐れがある。

自民党は、九条改憲への姿勢は変えていないが、いきなり九条だと世論が反発しハードルが高いので、まずは比較的世論の賛成を得やすいとみる案項(緊急事態条項)の新設をする意欲を示している。(1月6日付 中田)

自民党憲法改正草案「緊急事態条項」は

「憲法9条改正」とは、比べものにならない程怖い

弁護士 升永英俊

1933年2月28日、ドイツ・ヒトラー内閣は、「緊急事態宣言一大統領令」を発令して、数日のうちに(プロイセン州だけで)ナチスに反対の(共産党・社会民主党議員・支持者など)約5千人を、令状なしで逮捕し、言論の自由などの人権を停止した。

「緊急事態宣言」から、わずか24日後の3月23日には、「全権委任法」を成立させた。

「あのナチス憲法」の手口を学んだらどうかね。」と言った麻生大臣。今の自民党のリーダーが、「緊急事態宣言条項」を用いて、独裁国家をつくる可能性は皆無とは言いつれない。

2016 いただいた年賀状

出した年賀状 その①



千万の命の上に  
築かれし  
平らけき世を  
生くるかなしき  
思ひまは  
いやあらたなり  
み墓辺の 苔のみどりは  
深みゆけども

本願寺23世  
大谷嬉手裏方作

9の日行動のお知らせ



2月9日(火)午後4時~4時半  
パロ-長良店前 雨の時は16日(火)  
「戦争法廃止」の統一署名も呼びかけています。お近くの方、よろしくお願ひします。

加藤佳代さんの年賀状

今年もよろしくお願ひ致します



この国は民主主義の国なのか。あぜんとする発言が飛び出した。

安倍首相が衆議院予算委員会で、宜野湾市長選やこの夏の参院選、県議選が辺野古新基地建設に影響するかと問われ、「安全保障に関わることは国全体で決めること。1地域の選挙で決定するものではない」と述べた。

政府が決めるから、地方は黙って従えという意味になる。地方自治を完全に否定する発言だ。選挙で示す民意に従わないと明言したわけだから、民主主義を否定したことになる。

首相は戦後70年談話で「民主主義、人権といった基本的価値を堅持し、その価値を共有する国々と手を携える」と述べた。民主主義を無視しておいて、どんな手を差し出すのか？

今夏の参院選から選挙権が18歳からになる。若者に投票の意義を説くべきところを、投票が無意味だと示したのである。

投票に行かない若者の多くは、「どうせ投票しても何も変わらない」と語るが、政府のトップが自ら植え付けてどうするのか。

首相は国会で「沖縄の方々の気持ちに寄り添いながら」と述べていた。民意を無視してどう「寄り添う」つもりだろうか。

(元外務省 孫崎享氏のブログで紹介)

戦争法の廃止の統一署名

昨年暮れ、皆さんの元へお届けした署名用紙、現在145筆集まっています。署名用紙がない方、お届けします。また、届け先がわからない方は、ご連絡ください。家族やお隣にも声をかけて広げていきましょう。なお、余白が残っていても結構です。

- 長良 林(090-6769-9809)
- 長良東 島尻(231-1026)
- 長良西 後藤(233-0838)

カンパのお礼

1月7日 現在、53名の方から13万8千円寄せていただきました。厚く御礼申し上げます。

憲法九条

安倍首相は4日の年頭記者会見で今年の目標は「内政でも外交でも挑戦、挑戦、挑戦あるのみ」と述べた。意気込みを感じるというよりも安倍政権の恐怖を見るようだった。衆院はすでに自公両党で議席の3分の2以上を確保しており、憲法改正の発議のためのターゲットは今年7月の参院選だ。改憲をしっかりと訴えて自公で過半数を確保したいと述べた。国民の多くは



平和愛する思い 国を守る

山田 貴徳 公務員 (岐阜市) 50歳

沖縄・辺野古で盛り込みを続ける八十七歳の「オバア」、横田チヨ子さんの奮闘を記した本紙の特報に感動した。すべにでも沖縄へ行き、一緒に座り込んで、新基地建設に抗議せねば、とも思った。

「日米安保に守られてきた」「米軍が日本に基地を持つているから攻められなかった」と政府や世間は言うが、戦争経験者を先頭に平和を愛する思いが、私た

ちを守ってきたと感じた。国会が召集されて施政方針が述べられたが、「アベノミクス」は経済偏重であるが故に、民主主義の原点である沖縄の基地問題に向けた発言に心を打つものはない。その上、改憲まで持ち出されてはたまったものではないし、憲法の中身が日米同盟や集団的自衛権行使など現実と合わされれば、日本国民としてのアイデンティティーは消失する。

今国会で議論し、決めてほしいのは民主主義の原点

いただいた年賀状 その②

- 昨年は、夫も私も久しぶりにデモに参加しました。
- 今年は安倍政権を終わりにし、9条を守りたい。
- 9条を守るため、やさしい言葉でわかりやすく話せる力を身につけたい。
- 子どもたちの将来が心配です。歴史に学ばないといけません。
- 昨年、深夜の国会に集まった若者たちに心が震えるほど感動しました。
- 昨年娘が学校で自分で戦争について調べて発表しました。
- 憲法をないがしろにするアベが早くサル年に！

だ。前国会では、民意のない安保法制を成立させた。国は納得のいく説明はできないと思うが、まずは沖縄県民に説明することが国民に対する誠意だと思う。



憲法9条を守る参院選に

福祉団体役員 古野 貞幸 75 (北九州市小倉南区)

通常国会が開会した。たが、もう風雲急を告げる様相が見えてきた。安倍晋三首相が国民に挑戦状を突き付けたように思える。安倍首相は4日の年頭記者会見で今年の目標は「内政でも外交でも挑戦、挑戦、挑戦あるのみ」と述べた。意気込みを感じるというよりも安倍政権の恐怖を見るようだった。衆院はすでに自公両党で議席の3分の2以上を確保しており、憲法改正の発議のためのターゲットは今年7月の参院選だ。改憲をしっかりと訴えて自公で過半数を確保したいと述べた。国民の多くは

毎日 (1/10)